

# 横輪町 活性化委員会【伊勢市横輪町】

- 交流施設のオープンを契機に、**町民が一丸となり地域特産物「横輪いも」の生産を振興!**
- 名物メニューの提供により知名度向上を図るとともに、**増産に向けて栽培技術を確立!**

## 取組地域の概要

伊勢市南部の山あい位置する横輪町は、高い石垣に囲まれた伝統的家屋や、先人がつくった石積み  
の田畑が残る谷間の山里である。

大輪の横輪桜やホタル、谷間を流れ落ちる飛滝など地域資源も豊富で、地域住民と都市住民が集い  
ふれあう交流拠点として直売所「郷の恵『風輪』」も整備されている。

高齢者を中心とする自給的農業により、「横輪いも」の栽培が受け継がれ、特産品となっている。



**横輪いも**  
昭和初期に、九州から種芋を持ち帰って栽培が始まったといわれ、強い粘りと濃厚な味が特徴。

## 取組の背景

農林業の低迷により過疎化が進む中、平成 15 年から住民参加によるワークショップで地域活性化の検討を始めた。平成 18 年には、「郷の恵『風輪』」がオープンし、横輪いもをはじめ、米や野菜など地場製品の販売に取り組んでいる。

平成 25 年に横輪町活性化委員会、行政・民間との連携により「伊勢の横輪いも推進協議会」が発足し、地域活性化の起爆剤として、横輪いものブランド化をめざして取組がスタートした。

## 取組のポイント

### ポイント1 町民が一丸となり、栽培から販売まで取り組む

- ・ 高齢化が進む町の活性化のため、横輪いもが地域の元気づくりの一翼を担う存在となるよう、横輪町活性化委員会が中心となり、主に、遊休農地を借り上げて横輪いもの栽培とブランド化に向けた PR 活動に精力的に取り組んでいる。
- ・ 平成 18 年にオープンした「郷の恵『風輪』」では、横輪いもを使ったメニューの提供を行い、「横輪いもとろろうどん」が名物として定着している。



横輪いものとろろうどん

### ポイント2 横輪いもの増産に向け、生産技術を確立

- ・ 「伊勢の横輪いも」として地名度が高まり、増産が課題となる中で、栽培技術の確立に向け、横輪いもの生理生態をふまえた栽培・貯蔵試験や研修会の開催などに取り組んでいる。



横輪いもの栽培風景

## 今後の展望

横輪いも栽培をやりがいをもって継続して行ける仕組みの構築と、地域資源としての横輪いもを活用し、豊かで活性化した暮らしが営まれる地域づくりをめざす。

### ◆本事例に関する問い合わせ先◆

三重県伊勢農林水産事務所  
伊勢志摩地域農業改良普及センター  
電話 0596-27-5173